

飛鳥資料館 春期特別展「飛鳥寺2013」

飛鳥寺は、『日本書紀』によると崇峻天皇元年(588)に造営が開始されたとされる日本最初の本格的な寺院です。飛鳥寺建立は、仏教伽藍の建設にとどまらず、宗教・政治・文化・思想・美術・建築・技術等あらゆる面において当時きわめて重要な意味を持ち、日本古代史の一大画期でした。

この飛鳥寺の発掘調査をおこなったのは、半世紀以上も前の1956年～1957年のこと。そして、その時の出土品や『元興寺縁起』をもとに、飛鳥資料館では1986年に「飛鳥寺」展を開催し、多くの方々にご来場いただきました。

その後、飛鳥寺にかかわる調査や研究に様々な進展がありました。今回、「飛鳥寺2013」展として「飛鳥寺」展以降の新研究の成果と、奈文研が飛鳥寺の発掘調査をおこなった際に残した記録類の展示を企画しました。

今回の展示によって、飛鳥寺建立の意義と、その遺構や文化財を残してきた飛鳥の風土について思いをはせていただければ幸いです。(飛鳥資料館 成田 聖)

会 期：2013年4月26日(金)～6月2日(日)

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで、年末年始・月曜休館)

ホームページ：<http://www.nabunken.go.jp/asuka/index.html> お問い合わせ：☎0744-54-3561(飛鳥資料館)



飛鳥大仏

編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp/>
Eメール jimu@nabunken.go.jp
発行年月 2013年3月